

龍ヶ崎市議会だよりの「愛称」が決定しました

龍ヶ崎市議会だよりの「愛称」を募集したところ、20名から計50件の応募をいただきました。

厳正なる審査の結果、新しい愛称は「**まいりゅうレポート**」に決定しました。

「まいりゅうレポート」を応募していただいた小林さんには、賞状と記念品を贈呈いたしました。

この愛称には、「市民にはあまりなじみのない議会を身近に感じられるよう、また、龍ヶ崎の今を知ることができるニュースとなるように」といった思いが込められているそうです。

なお、応募者の中から抽選で5名の方にまいりゅうグッズを差し上げる抽選の結果については、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



▲写真左から油原議長、小林さん、後藤副議長

まちかどトピックス

リニューアルのため、今年1月から全面閉鎖していた龍ヶ崎市森林公園ですが、このたび一部施設「フォレストアドベンチャー・龍ヶ崎」が完成し、7月13日にオープンしました。

来春のグラウンドオープンに向けて、年内には小さなお子さまから楽しめる「ネットコース」やクライミング初心者の方も挑戦できる「クリフチャレンジャー」が完成予定です。さらに、「トレイルアドベンチャー（マウンテンバイクのコース）」やキャンプ場、バーベキューエリア、カフェブース等も設置される予定です。どうぞお楽しみに！



▲詳細はこちらからご確認ください。

編集後記

自分の子ども時代を振り返ってみれば、夏休み開始後数日で宿題用ドリルを出るところだけ済ませると、後は夏休み期間中、朝から晩まで真っ黒になり、地域での野球や魚取り、クワガタやセミ捕りなど、自然を相手に十二分に楽しんでいていす。もちろん、塾とも無縁の生活を送っていましたし、昼間の遊び疲れから、午後9時以降のテレビ番組を見たことがありませんでした。そして初めて泳ぎを覚えた場所は、現在の

総合福祉センターに隣接する旧小貝川内の竹で作られたプールであり、そのエリア内で基本的な泳ぎを覚えると、竹プールエリアを離れ、川底近くのライギョの大群を見ながら泳いでいたと思います。時代が変わり、気候変動による猛暑の影響などから、子どもたちの遊びも屋外から室内でのゲーム遊びなどに変化しているのかもしれないが、やはり、子ども時代は、外遊びの体験などを通して五感を磨くことが大切だと感じます。

加藤 勉 記



次の議会

令和6年第3回定例会は

9月4日

開会予定です

広報委員会

委員長	後藤 敦志
副委員長	後藤 光秀
委員	金剛寺 博
委員	藤木 妙子
委員	櫻井 速人
委員	加藤 勉